

第9期飯塚市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定に向けた 高齢者の実態調査について

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(別紙1)

- (1)対象者：市内に居住する65歳以上の高齢者(要介護認定で要介護1から5の者を除く)
3,000人程度(回収率：概ね70%以上を想定)に郵送
- (2)目的：介護状態になるまえの高齢者の状況把握や地域課題の特定
- (3)調査票：必須項目35問・オプション項目29問・飯塚市独自項目22問
- (4)その他：必須項目については、見える化システムにより比較が可能

2. 在宅介護実態調査(別紙2)

- (1)対象者：市内に居住する要支援・要介護認定者(要介護認定データと連動させる)
1,000人(回収率：概ね70%以上を想定)に郵送
- (2)目的：要介護者の在宅生活継続及び介護者の就労継続に関する状況把握や課題の特定
- (3)調査票：必須項目9問・オプション項目10問・飯塚市独自項目9問
- (4)その他：必須項目については、見える化システムにより比較が可能

3. 在宅生活改善調査(別紙3)

- (1)対象者：市内全ての居宅介護支援事業所(小規模多機能型・看護小規模多機能型を含む)
53事業所(回収率：概ね85%以上を想定)に郵送
- (2)目的：現在のサービスでは生活維持が困難になっている利用者の実態把握や課題の特定
- (3)調査票：事業所票3問・利用者票14問
- (4)その他：前回の第8期計画策定時は、策定支援事業者の提案により実施

4. 居所変更実態調査(別紙4)

- (1)対象者：市内の施設・居住系サービス事業所
100事業所(回収率：概ね85%以上を想定)に郵送
- (2)目的：新規入居・退去の流れの把握や地域包括ケアシステムの深化に向けた課題の特定
- (3)調査票：10問
- (4)その他：前回の第8期計画策定時は、策定支援事業者の提案により実施

5. 介護人材実態調査(別紙5)

- (1)対象者：市内の施設・居住系サービス事業所・通所系サービス事業所
300事業所(回収率：概ね85%以上を想定)に郵送
- (2)目的：介護人材の状況把握や訪問介護サービス提供の実態把握
- (3)調査票：事業所票13問・職員票6問
- (4)その他：前回の第8期計画策定時は未実施のため、今回が初めての調査